

◆ 今週のコメント

- 重症熱性血小板減少症候群の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口で、感染経路はマダニです。平成25年3月4日に四類感染症に追加されて以来、本市における初めての報告例です。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(50歳代男性)あります。症状は発熱、咳嗽、肺炎、多臓器不全で、感染経路は水系です。本年の累積報告数は6例です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(50歳代男性、50歳代女性)あり、本年の累積報告数は50例となっています。
- 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は初期硬結で、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は15例となっています。

梅毒の感染経路や治療、予防等に関して「梅毒に関するQ&A」としてまとめられていますので、以下のホームページを御覧ください。

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

- 京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.52(106例)となり、第23週以降増加が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 11例(肺結核 6例, その他結核4例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 175例(肺結核 96例, その他結核 36例, 潜在性結核感染者 43例)うち喀痰塗抹陽性45例】
- 四類:重症熱性血小板減少症候群1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(25週追加報告分)【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 50例】
- 五類:梅毒(早期顕症梅毒)1例【1月以降の累積報告数 15例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.36	267
	② ヘルパンギーナ	2.52	106
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	48
	④ 流行性耳下腺炎	0.71	30
	⑤ 手足口病	0.67	28
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

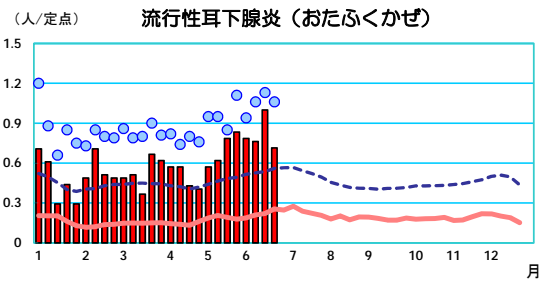
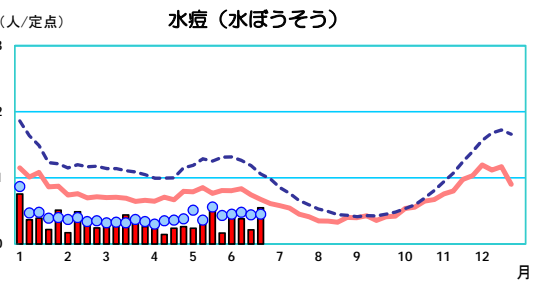
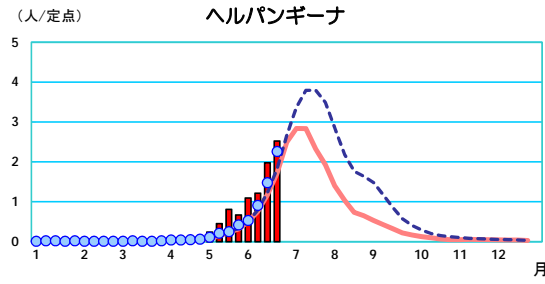
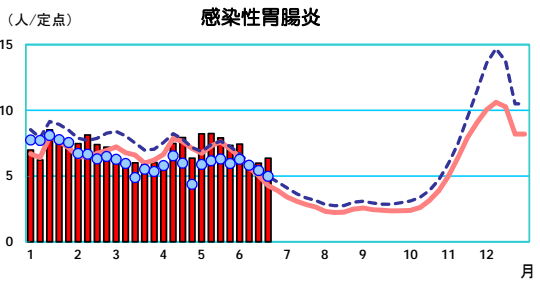
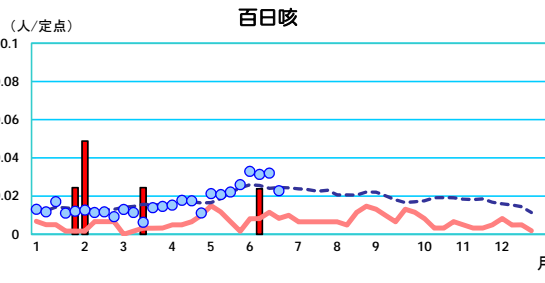
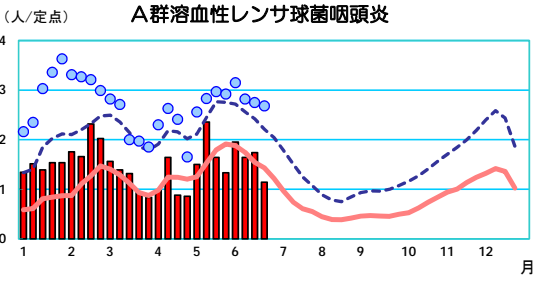
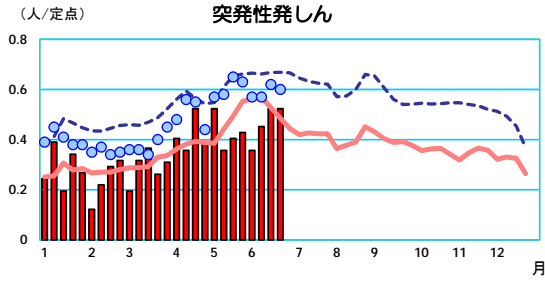
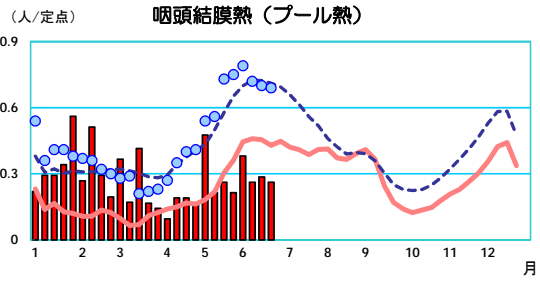
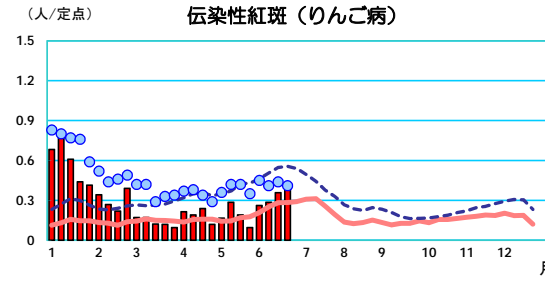
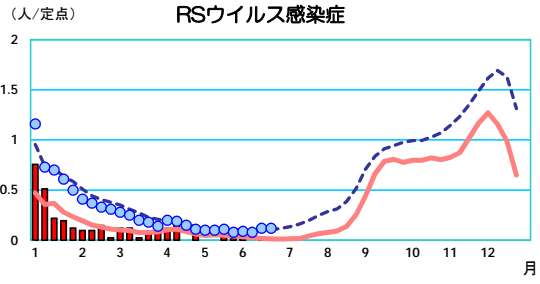
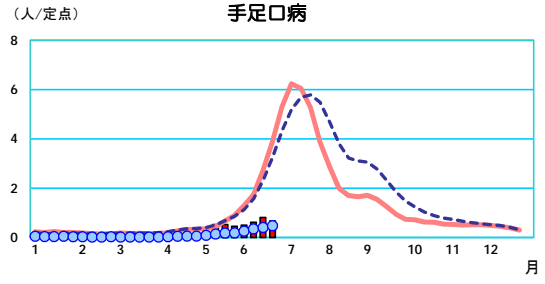
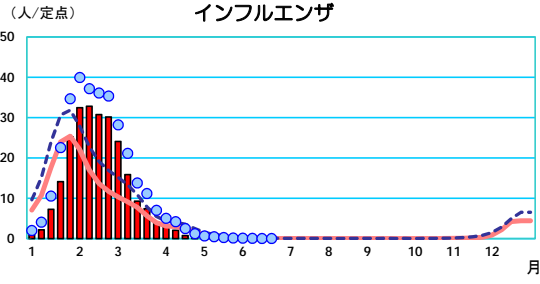
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年7月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第26週(6月27日～7月3日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市及び全国の発生動向

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.52(106例)となり、第23週以降増加が続いています(図1)。過去5年間の同時期と比較して、最も多い報告数となっています(図2)。全国における流行地域は西日本に多く(図3)、各地で報告数の大幅な増加がみられ、2県で警報レベル「6」を超えました。近畿6府県は報告数が高い水準にあり、和歌山県、大阪府、滋賀県が全国の報告数上位10位に含まれています(図3)。ヘルパンギーナの流行のピークは2011年～2015年の過去5年間、いずれも7月中旬にあたる第28、29週となっていることから(図2)、本年もまもなく流行のピークを迎えるものと予想されますので、発生動向に注意が必要です。

症状

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏季に流行するいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。発熱、口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とし、主にコクサッキーウイルスA群を原因として発症します。潜伏期間は2～4日で、突然、38～40℃の発熱が1～3日間続きます。咽頭痛、咽頭粘膜の発赤のほか、口腔内には直径1～5mmほどの小水疱が出現し、疼痛を伴います。回復後も2～4週間、便にウイルスが含まれることがあります。

予防について

- 患者との濃厚接触を避け、うがいや手洗いを心掛けましょう。
- トイレやおむつ交換の後などは特に手洗いを十分に行いましょう。



図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

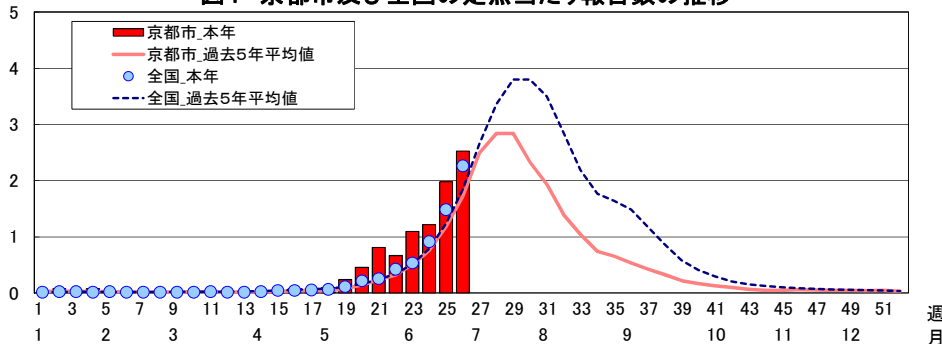


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2011年以降)

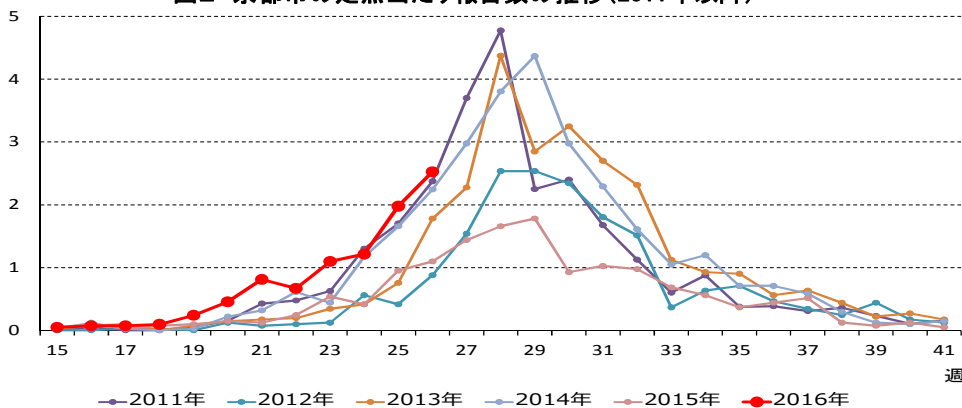
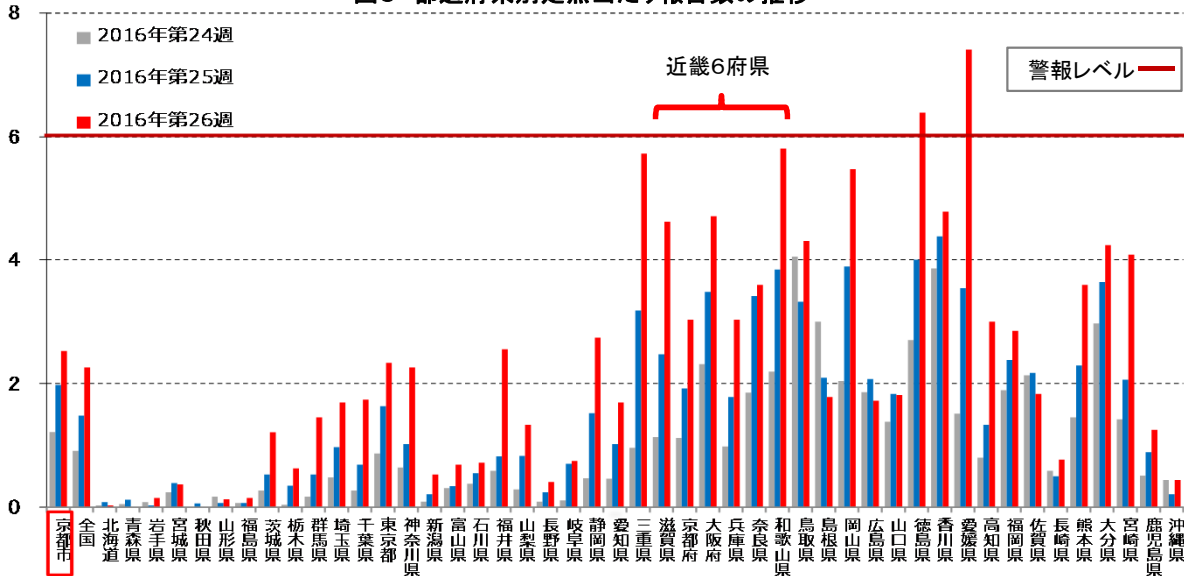


図3 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第26週

疾病,行政区別報告数

平成28年6月27日～平成28年7月3日

データ入手日:平成28年7月6日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	2	1	4	-	-	-	1	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-
北	-	-	2	1	4	-	-	-	1	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	9	9	1	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1	74	10	4	4	2	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	8	-	3	2	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	16	3	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	2	3	5	3	5	1	3	-	4	5	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	10	2	3	1	2	-	14	1	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3	15	44	2	6	2	3	-	10	5	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	8	63	2	3	7	6	-	32	12	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	6	34	-	4	-	1	-	24	5	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	11	48	267	23	28	17	22	-	106	30	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	0.50	0.25	1.00	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	3.00	-	-	-	-	-
北	-	-	0.50	0.25	1.00	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	3.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	3.00	3.00	0.33	-	-	1.00	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.25	18.50	2.50	1.00	1.00	0.50	-	1.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2.67	-	1.00	0.67	-	-	1.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	8.00	1.50	-	-	0.50	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.50	0.75	1.25	0.75	1.25	0.25	0.75	-	1.00	1.25	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	3.33	0.67	1.00	0.33	0.67	-	4.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.60	3.00	8.80	0.40	1.20	0.40	0.60	-	2.00	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	1.14	9.00	0.29	0.43	1.00	0.86	-	4.57	1.71	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1.20	6.80	-	0.80	-	0.20	-	4.80	1.00	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.26	1.14	6.36	0.55	0.67	0.40	0.52	-	2.52	0.71	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第26週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年6月27日～平成28年7月3日

データ入手日:平成28年7月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	1	4	1	1	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	-	-	2	3	9	5	6	4	7	8	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		267	4	20	37	22	33	22	21	18	9	13	5	21	13	29	-	-	-	-	-	-
水痘		23	-	1	2	2	5	2	3	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	28	-	2	8	6	6	-	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		17	-	-	-	3	3	4	-	3	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		22	-	6	11	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		106	-	11	36	21	12	10	9	1	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		30	-	-	-	4	5	2	2	5	3	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.10	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.14	-	-	0.05	0.07	0.21	0.12	0.14	0.10	0.17	0.19	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.36	0.10	0.48	0.88	0.52	0.79	0.52	0.50	0.43	0.21	0.31	0.12	0.50	0.31	0.69	-	-	-	-	-	-
水痘		0.55	-	0.02	0.05	0.05	0.12	0.05	0.07	0.07	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.67	-	0.05	0.19	0.14	0.14	-	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.40	-	-	-	0.07	0.07	0.10	-	0.07	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.52	-	0.14	0.26	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2.52	-	0.26	0.86	0.50	0.29	0.24	0.21	0.02	0.02	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.71	-	-	-	0.10	0.12	0.05	0.05	0.12	0.07	0.02	0.02	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第26週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年7月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	6	6	8	1	-	-
RSウイルス感染症	2	1	1	-	1	-
咽頭結膜熱	11	9	16	11	12	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	56	82	69	73	48
感染性胃腸炎	332	308	312	250	251	267
水痘	23	7	18	16	9	23
手足口病	22	19	21	26	34	28
伝染性紅斑	8	4	11	12	15	17
突発性発しん	17	18	15	19	22	22
百日咳	-	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	34	28	46	51	83	106
流行性耳下腺炎	33	35	33	32	42	30
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	4	2	3	4	4
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	561	495	565	491	546	556

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.09	0.09	0.12	0.01	-	-
RSウイルス感染症	0.05	0.02	0.02	-	0.02	-
咽頭結膜熱	0.26	0.21	0.38	0.26	0.29	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	1.33	1.95	1.64	1.74	1.14
感染性胃腸炎	7.90	7.33	7.43	5.95	5.98	6.36
水痘	0.55	0.17	0.43	0.38	0.21	0.55
手足口病	0.52	0.45	0.50	0.62	0.81	0.67
伝染性紅斑	0.19	0.10	0.26	0.29	0.36	0.40
突発性発しん	0.40	0.43	0.36	0.45	0.52	0.52
百日咳	-	-	-	0.02	-	-
ヘルパンギーナ	0.81	0.67	1.10	1.21	1.98	2.52
流行性耳下腺炎	0.79	0.83	0.79	0.76	1.00	0.71
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.40	0.20	0.30	0.40	0.40
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.61	12.03	13.53	11.91	13.30	13.54

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。